



第66期 中間報告書

平成23年12月1日～平成24年5月31日



マルカキカイ 株式会社

日本・アメリカ・中国・アジアの4極体制を構築し、 《創・守・伸》を推し進めてまいります。

株主の皆様には平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の長期化や輸出の減少など、懸念材料はあるものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。アジア・中国経済におきましては、輸出の減速や成長率に鈍化はみられますが、堅調でありました。一方、アメリカ経済は、個人消費が持ち直し、企業収益も改善し、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、日米中亜の4極体制の構築を推し進めるとともに、基本方針として

「創・守・伸」（新事業・新分野・新規顧客の創造、販売ルートの堅持、既存ユーザーとの取引深耕）を徹底してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,066百万円（前年同期比25.7%増）、営業利益は1,109百万円（同158.2%増）、経常利益は1,207百万円（同142.7%増）、四半期純利益は619百万円（同106.2%増）となりました。

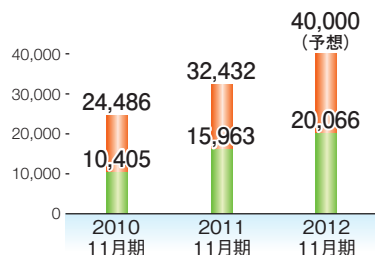
当社グループの営業戦略は、前述のとおり4極体制の構築、産業機械部門はさらなる海外取引の拡大、建設

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

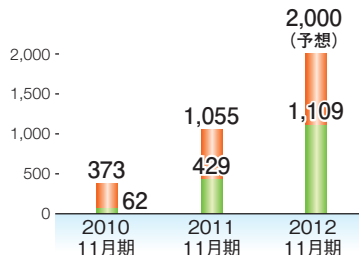
売上高(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 百万円)



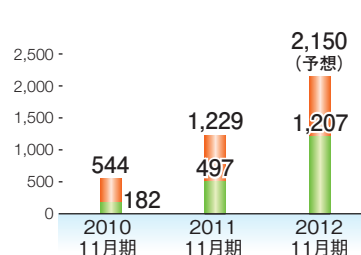
営業利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 百万円)



経常利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 百万円)



機械部門はアジアを中心に海外取引を増加させることで
す。またMM会商品も、産業機械部門、建設機械部門
ともその取扱高を増加させることです。

当第2四半期連結累計期間では、海外売上高は59.1%
と6割近くまで伸ばすことができました。

産業機械部門は、北米やアジア向けに海外売上高が
拡大しています。さらなる飛躍を目指し、海外進出企業
のサポート、現地優良企業との取引拡大をはかってまい
ります。

建設機械部門は、アジア向けの輸出拡大と、東日本
大震災の復興に向けては、少しでもお役に立てるように、
東北地方の建設機械需要に素早く対応できる体制を引
続きとってまいります。

当社グループは設立66周年を迎えます。これもひと
えに株主の皆様をはじめ、お取引先様各位の永年のご

支援・ご愛顧の賜と感謝申し上げます。「人生は誠也」
を社訓として、「最善の奉仕」をモットーに、「顧客の満
足」を使命として着実に事業の展開をはかってまいりま
した。これからも、この精神は忠実に守ってまいりま
す。株主の皆様におかれましては、今後とも当社グルー
プへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い
申し上げます。



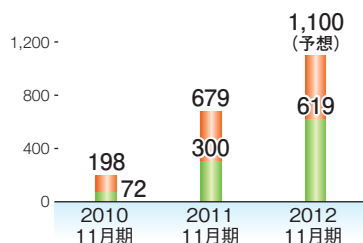
取締役会長
釜江 信次



取締役社長
竹下 敏章

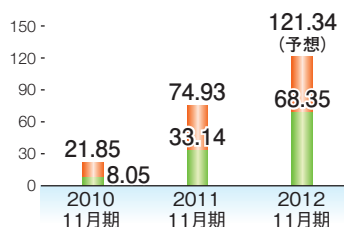
四半期(当期)純利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 円)



1株当たり配当実績および予想

■ 第2四半期末 ■ 期末 (単位: 円)



部門別の概況

OPERATING RESULTS

産業機械部門

産業機械部門における設備投資は、国内・海外とも堅調に推移いたしました。北米では自動車業界向けに大きく伸長し、アジアでも、自動車業界向けに販売が好調に推移したことに加え、タイの洪水復興需要の取り込みもありました。

この結果、当部門の売上高は17,684百万円（前年同期比39.0%増）、営業利益は1,368百万円（同66.1%増）となりました。



建設機械部門

建設機械部門を取り巻く環境は、東北地方の震災復興需要を除くと公共投資は減少しており、厳しい状況で推移いたしました。販売部門は苦戦し、レンタル部門は微増でありました。

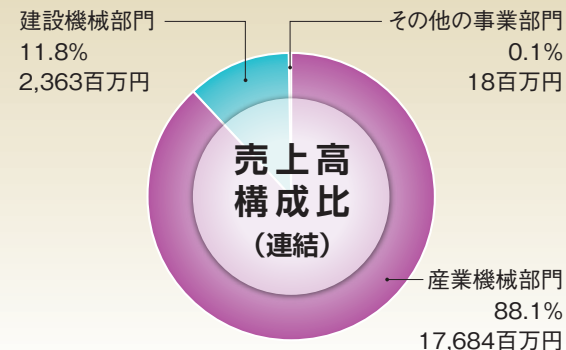
この結果、当部門の売上高は2,363百万円（前年同期比26.7%減）、営業利益は109百万円（同56.2%増）となりました。



その他の事業部門

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。

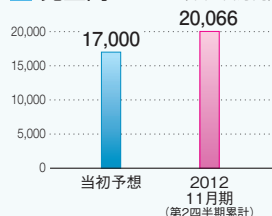
当部門の売上高は18百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益は5百万円（同13.1%減）となりました。



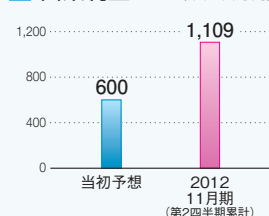
当第2四半期連結累計期間の業績は、当初予想を上回りました。

平成24年6月20日、下記のとおり業績予想および配当予想の上方修正をいたしました。当社グループは、日本・アメリカ・中国・アジアの4極体制の構築を推し進めており、国内においては自動車産業の生産回復があり、アメリカ、アジアにおいても自動車関連向けの販売が伸びました。

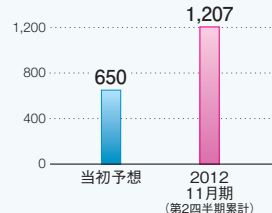
■ 売上高 (単位:百万円)



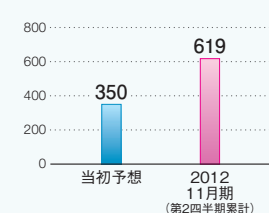
■ 営業利益 (単位:百万円)



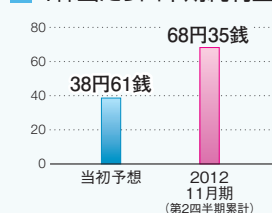
■ 経常利益 (単位:百万円)



■ 四半期純利益 (単位:百万円)



■ 1株当たり四半期純利益



■ 1株当たり四半期配当金



中国第4の拠点として無錫営業所を開設いたしました。

上海丸嘉貿易有限公司(マルカ上海)が平成24年5月7日に中国江蘇省無錫に営業所を開設いたしました。営業の効率化を目指し、工場誘致の盛んな常州、丹陽、鎮江へのユーザー様のニーズにいち早く対応できるように営業の展開をはかってまいります。

住所：江蘇省無錫市新区高浪東路19号
逸林大廈906室

MM会(マルカメーカー会)に新たに3社が加入し15社に。

産業機械のMM会(マルカメーカー会)は、専門分野で優秀な技術を持ったメーカーが協力し、販売並びに新商品の共同開発を目的とした会です。

このたび、新たに3社が加入し、会員社数15社となりました。MM会企業の優秀な商品を全世界に提供をしております。

MM会会員社名(順不同)

(株)大鋳、大峰工業(株)、(株)管製作所、(株)光栄製作所、
(株)コスモテック、先生精機(株)、千代田工業(株)、
富士エンジニアリング(株)、(株)ユーテック、
三菱エコシステム(株)、(株)紀和マシナリー、高橋金属(株)、
(株)富士精機販売、PT.PAMINDO TIGA T、
ソノルカエンジニアリング(株)

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

回 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

	前期末 平成23年11月30日 現在	当第2四半期末 平成24年5月31日 現在
資産の部		
流動資産	17,799	18,824
固定資産	5,847	6,079
有形固定資産	3,773	3,902
無形固定資産	86	90
投資その他の資産	1,987	2,086
繰延資産	1	0
資産合計	23,648	24,904
負債の部		
流動負債	10,636	11,240
固定負債	462	448
負債合計	11,098	11,689
純資産の部		
株主資本	12,502	13,049
資本金	1,414	1,414
資本剰余金	1,300	1,300
利益剰余金	9,999	10,546
自己株式	△ 211	△ 211
その他の包括利益累計額	△ 266	△ 177
その他有価証券評価差額金	78	80
土地再評価差額金	269	291
為替換算調整勘定	△ 613	△ 550
少数株主持分	313	343
純資産合計	12,549	13,214
負債純資産合計	23,648	24,904

回 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

	前第2四半期(累計) 自 平成22年12月 1 日 至 平成23年 5 月31日	当第2四半期(累計) 自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 5 月31日
売上高	15,963	20,066
売上原価	13,799	17,103
売上総利益	2,164	2,962
割賦販売未実現利益戻入額	23	14
割賦販売未実現利益繰入額	16	7
差引売上総利益	2,172	2,969
販売費及び一般管理費	1,742	1,859
営業利益	429	1,109
営業外収益	108	130
営業外費用	40	32
経常利益	497	1,207
特別利益	23	15
特別損失	8	3
税金等調整前四半期純利益	512	1,219
法人税、住民税及び事業税	205	580
少数株主損益調整前四半期純利益	306	639
少数株主利益	5	19
四半期純利益	300	619

株式の状況 & 会社概要

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

株式の状況 (平成24年5月31日現在)

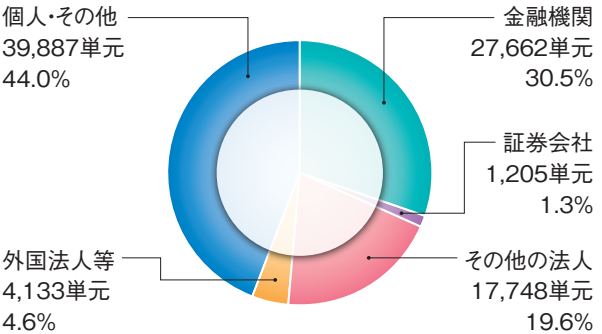
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	6,258名
単元株式数	100株

大株主(上位10名)の状況 (平成24年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.6
株式会社不二越	576,000	6.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	550,000	6.1
日本トラスト・サービス信託銀行株式会社	428,600	4.7
株式会社りそな銀行	396,000	4.4
株式会社みずほ銀行	372,000	4.1
マルカキカイ従業員持株会	352,394	3.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	288,000	3.2
乾 孝 義	261,900	2.9
若 山 永 太 郎	212,300	2.3

(注) 持株比率は自己株式(262,359株)を控除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

所有者別株式分布状況 (平成24年5月31日現在)



会社概要 (平成24年5月31日現在)

商 号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設 立	昭和21年(1946年)12月16日
本 社 所 在 地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ http://www.maruka.co.jp/
主な事業内容	機械専門商社として産業機械、 建設機械の国内販売および輸出入
資 本 金	14億1,441万円
従 業 員 数	連結 404名、単独 166名

役員 (平成24年5月31日現在)

代表取締役会長	釜 江 信 次
代表取締役社長	竹 下 敏 章
取締役兼常務執行役員	森 康 明
取締役兼執行役員	真 鍋 聡
取締役兼執行役員	諸 富 秀 一
取締役兼執行役員	難 波 経 久
取締役兼執行役員	吉 儀 裕 之
※ 取締役	湯 村 幸 次
※ 相談役	乾 孝 義
※ 常勤監査役	記 録 勇 次
※ 常勤監査役	塚 原 実
※ 監査役	柴 功 安
※ 監査役	長 崎 伸 郎
執行役員	太 田 稔
執行役員	安 田 洋 祐

上記※印は、社外取締役および社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで

期末配当受領株主確定日 11月30日

中間配当受領株主確定日 5月31日

定時株主総会 2月

基準日 定時株主総会については 11月30日
(その他必要あるときは予め公告する一定の日。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(兼 特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(兼 特別口座の口座管理機関連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

各種お問合せ 電話 ☎ 0120-094-777

※証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。

※特別口座に記録された株式関係のお手續用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。

手續用紙請求電話 ☎ 0120-244-479

(本店証券代行部)

☎ 0120-684-479

(大阪証券代行部)

インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)

<http://www.maruka.co.jp/>

なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>